

広域緊急交通路沿道建築物耐震化促進事業

大阪府北部地震を経験した大阪府においては、切迫する巨大地震への対策は急務
〔 目標 : R7年を目途に耐震性の不足するものをおおむね解消 〕

〔補助の実績等〕

R1年度までの6年間で補助実績が22棟 → 耐震性不足 217棟

〔審議会委員の意見〕

今の補助率ではまったく進まない

〔所有者の実態調査の結果〕

実態調査した41件の約7割27件の所有者が、工事費の25%程度の負担なら改修等の検討が可能と回答



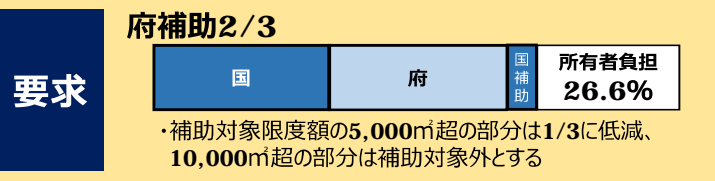
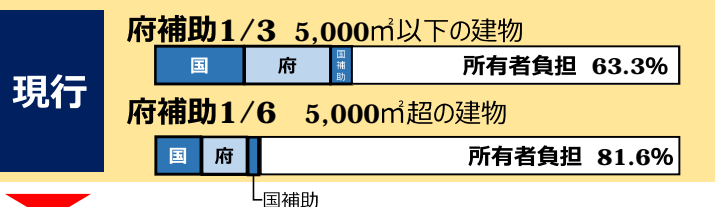
補助率を国制度上限と同じに拡充

ただし、5,000㎡超の部分は低減し、補助の重点化を図る

知事復活要求額 : 85,714千円

(国費42,857千円 一般財源42,857千円)

耐震改修費の補助率



〔参考〕改修・除却補助の実績 (R2.3 未想定)



耐震化が加速され、広域緊急交通路の機能が早期に確保される

補助率高上げの効果

・所有者の実態に即した補助率により耐震化が加速し目標達成

改修等補助の実績と見込み



〔参考〕全体事業見込み (R2~R7)

項目	算出方法	事業費	府費	備考
現行	A: 補助限度額ベース	135億円	68億円	
	A': 実工事費ベース	91億円	45億円	
要求	B: 補助限度額ベース	247億円	124億円	B-A + 56億円
	B': 実工事費ベース	163億円	82億円	B'-A' + 37億円

広域緊急交通路沿道建築物耐震化促進事業

— 広域緊急交通路 1,214.5km

— うち耐震診断義務付け路線



谷町筋 (あべのハルカスより北側を撮影)

